



すぎなみ 教育報



No.208

平成25年3月11日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692

もうすぐ新しい永福小学校が開校します



平成25年4月永福南小学校と永福小学校が統合し、新たに永福小学校としてスタートします。

両校の子どもたちは4月から一緒に学び、遊ぶことを楽しみにしています。

教育目標

地域と共に創る
学校を目指して

「やさしく つよく」

校歌

杉並区立永福小学校校歌

作詞 タケカワ ユキヒデ

作曲 吉川 慶

夢みるひとみは空をこえ
海のかなたをみつめてる
いつまでも進み続けよう
心で心を育てていこう
この小学校に宝あり
ああ永福小 やさしく つよく
私たちの小学校

なかまの気持ち大切に
どんな時も助け合いたい
時にはいいライバルだけど
心と心はつながっている
この小学校に幸あれ
ああ永福小 やさしく つよく
私たちの小学校

大きなけやきに守られて
みどりの芝生をふみしめる
大事な思いをわすれずに
心と心が一つになった
この小学校に栄光あれ
ああ永福小 やさしく つよく
私たちの小学校

コミュニケーションマーク



新しい永福小学校のシンボルです。このマークは、両校の子どもたちから募集し、統合協議会で選ばれました。



壁面緑化された新体育館



体育館に屋上プールを設置



田んぼや池のあるピオトープ

統合協議会

平成22年5月に設置した統合協議会では、学校関係者や保護者・地域の方々が新しい学校づくりに向けて、22回にわたり熱心な検討が行われました。

花いっぱい運動

これまで永福南小学校と永福小学校では、合同で「花いっぱい運動」を進めてきました。永福南小ではプリムラ、永福小ではパンジーを児童自らが種まき・育苗を行い、育てた花は、児童が日頃お世話になっている地域の方々に届けています。

今後は、高井戸第三小学校と向陽中学校を新たに加え、花いっぱい運動の輪を広げていきます。



平成25年度 教育予算(案)の主要事業を紹介します

次世代に夢と希望を

◇中学生海外留学等「次世代育成基金」の活用 (基金活用分 927万円)

次代を担う子どもたちが、広く社会に関心を持ち、健やかに成長していけるよう「次世代育成基金」の活用を推進します。5事業を予定し、オーストラリア・ウィロビー市への留学を新たに実施します。

◇(仮称) 中学3年「休日」パワーアップ教室の実施 (399万円)
より一層学習したいという意欲に応えるため、「夏季パワーアップ教室」に加え、長期休業期間・休日に、補習授業を新たに実施します。

◇部活動活性化事業のモデル実施 (2,133万円)
中学校の部活動の活動日の一部(土日等)を外指導者による指導にあてる「部活動活性化事業」をモデル実施します。

障害児援護の充実・成長発達に応じたきめ細かな教育の推進

◇特別支援教育(障害児教育) (1億3,393万円)

特別支援学級介助員と通常学級支援員を増員するなど、個々の障害に応じた支援を行います。

地域と共にある学校づくり

◇新しい学校づくりの推進 (429万円)

「杉並区立小中学校適正配置基本方針」を発展的に受け継いだ「新しい学校づくり推進基本方針」の策定等に取り組みます。

学校教育環境の整備・充実

◇区立小中学校の改築等 (34億6,662万円)

高井戸第二小学校の耐震化事業に伴う改築工事が竣工します。また、平成27年4月の新泉・和泉地区での小中一貫教育校の開校に向けて、新校舎の建設工事等に着手します。

◇特別支援学級電子黒板機能付モニターの整備 (985万円)

学習支援・コミュニケーションツールとして有用である移動式モニターを、特別支援学級及び済美養護学校(小・中学部)に整備します。

学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり

◇体育施設の整備 (20億4,332万円)

大宮前体育館(平成26年4月開館予定)の移転改築工事を進めるとともに、妙正寺体育館改築の実施設計を行います。

◇生涯スポーツ振興事業 (3,513万円)

「国民体育大会」と「全国障害者スポーツ大会」を一つの祭典とした「スポーツ祭東京2013」が開催されます。杉並区内では、3競技(ラジオ体操・ガーデンゴルフ・ユニカール)が開催予定です。

連載シリーズ4

杉並区の小中一貫教育

杉並区のこれからの小中一貫教育

小中一貫教育をすすめていくと次のような効果が期待されます

子どもにとって・・・

- 小学生は、中学校での生活を体験することを通して、新たな活動やこれからの生活に興味や関心が高まり、学びの意欲が向上していきます。
- 中学生は、小学生とのかかわりによって、年長者としての「自覚」が高まり、豊かな人間性が育っていきます。



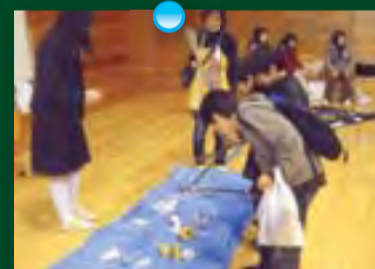
共に学ぶ

すべての子どもたちが自立して社会で生き、豊かな人生を送るための自信となる人生の基盤をつくる

保護者・地域にとって・・・

- 小学校卒業後も、PTAや学校支援本部等の活動を通して学校とのかかわりが継続化し、小・中学校一貫した協働活動を展開することができます。
- 学校を核とした地域コミュニティがより活性化し、「まちづくり」を推進することにつながります。

共に創る



共に支える

教員(学校)にとって・・・

- 小・中学校教員同士が互いに理解し合い、協働することによって、それぞれのもつ専門性をより発揮した教育活動を進めることができます。
- 9年間を見通したより質の高い指導をすることで、子どもたちの「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな身体」を育てていきます。



今後も、杉並区では、子どもたちの確かな成長に向けて、教育委員会、学校、保護者・地域が協力・連携して、小中一貫教育を着実に進めてまいります。



問合せ：済美教育センター

平成25年度 就学援助のお知らせ

就学援助は、区内在住で国公立の小・中学校に通学している児童・生徒の保護者に対し、学用品や給食など学校で必要な費用の一部を杉並区が援助する制度です。

【対象】 杉並区に居住している児童・生徒と同居の保護者で、次のいずれかに該当する方

- (1) 現在、福祉事務所の生活保護を受けている。
- (2) 平成24年4月1日以降に、生活保護が停止・廃止になった。
- (3) 平成24年中の世帯員全員の総所得金額の合計が、教育委員会で定める認定基準額以下の世帯。

【申込】 申請書は、4月以降に区立小・中学校または学務課就学奨励担当で配布します。区外の学校に通学している児童・生徒の保護者で、就学援助の受給を希望される方は、お問い合わせください。

【問合せ】 学務課就学奨励担当

「いじめ」をしない、させない、許さない

現在、いじめは、大きな社会問題となっています。いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得るものであり、「人間として絶対に許されない」との意識を徹底することが必要です。教育委員会は、各学校に対して、いじめの兆候をいち早く把握し、対応するために作成した「いじめ対応マニュアル改訂版」を配布しました。

各学校では、「ふれあい（いじめ防止強化）月間」において、全児童・生徒に対していじめについてのアンケートを実施するなど、いじめの未然防止、早期発見・解決に取り組んでいます。また、研修を通して、教員のいじめ問題の対応力の向上を図っています。今後も、教育委員会は学校・家庭・地域・関係機関等と連携を深めながら、いじめ問題への適切な対応に努めていきます。



夜間塾の開催

12月19日

「かけがえのない子どもたちを守るために～いじめに対し、今、大人ができることを考える～」をテーマに、中学校長、保護者代表、教育委員会関係者、保健福祉部関係者、民間相談機関関係者をパネリストとして、シンポジウムを実施しました。

いじめから子どもを守るために、子どもや保護者・教員の立場など多角的な視点で、意見交換を行いました。参加者からは、「いじめを一人の力で解決することは難しい。保護者や関係機関と連携していくことが大切だ。」との声がありました。

児童・生徒の自主的な取組

いじめ問題を子どもたち自身が自分たちの問題として真剣に受け止め、その克服に努めることを通して、豊かな人間性を育てていくことはとても大切なことです。

中瀬中学校では、生徒会役員が中心となり、「言われて傷付く言葉を使わないようにしましょう」「日頃から“ありがとう”の言葉を交わそう」との呼び掛けや、ポスターを掲示するなど、明るい学校づくりに取り組んでいます。

今後も、いじめ克服に向け、各学校の取組を推進し、より良い社会をつくるための公共心や他者と多様な関係を結ぶ力を育てていきます。



問合せ：済美教育センター



相談窓口の設定

井荻中学校では、今年度、養護教諭を「いじめ等なんでも相談担当」とし、生徒や保護者が相談できる窓口を開設しました。保健室を生徒や保護者が、いじめ問題も含め、どのようなことでも話を聞いてもらえるスペースとして活用しています。

教育委員と小学校PTA役員との懇談会が開催されました

1月23日



杉並区立小学校PTA連合協議会（小P協）が主催した教育委員との懇談会が、行われました。

「教育ビジョン2012の実現に向けて」「いじめの問題について」「子どもの体力向上について」「学校の現場視察や地域のなかで、子どもたちについて感じていること」をテーマとし、これからの杉並の教育の目指す方向を話し合いました。

「いじめ問題は、人間が持っている弱さの象徴である。大人がしっかり関わることや、子どもたちが主体的に解決していく力を高める教育が大事だ」「体力は、生きる力・学ぶ力の根幹となるもの。体を動かす機会を積極的につくって欲しい」「子どもは変わっていない。大人や社会環境が変わったのだと思う」など、参加した全員が自分のこととして考える懇談会となりました。

問合せ：学校支援課

家庭教育フォーラム「親の生きる力を育てる子育て支援の発想」を開催しました

1月25日

確かにそうだ!

家庭教育支援に関わる個人や団体の方等50名を対象に、武蔵大学人文学部教授で臨床心理士の武田信子氏を迎え、「保護者の子育て力を高めるため支援者に何ができるか」を学び合いました。



「自分が子どもの頃楽しかった遊びを今の子どもたちはできるか」「家の近くの公園で、放課後、どんなふう遊ぶか」等をテーマとしたグループワークや、「杉並区で子どもたちに起きている問題（いじめ、虐待等）が生まれる原因はどこにあるのか、その根幹を支援者が見極めて対処していけるように」というお話がありました。

なお、当日のフォーラムの講演録は教育委員会ホームページ（生涯学習・スポーツ → 家庭教育支援）に後日掲載予定です。

問合せ：学校支援課



ユネスコ中学生クラブが始まります！

毎年、様々なゲストスピーカーを招いて行っている中学生クラブ。今年も経験豊かな高校生、大学生、外国人のお兄さんやお姉さんなどが中心となり企画したプログラムで、英会話や世界の国々について楽しく学びます。Let's enjoy 中学生クラブ！

【日時】 25年4月～26年3月の毎月原則第2土曜日（8月を除く）午後2時30分～4時30分

【場所】 セシオン杉並ほか 【対象】 区内在住・在学の新中学1～3年生 【定員】 60名 【費用】 年間4,000円

【問合せ】 社会教育センター（〒166-0011 梅里1-22-32 E-mail: shakyo-c@city.suginami.lg.jp ☎3317-6621）へ。
※4月3、4日にはセントメリーズインターナショナルスクールへ一日体験入学も予定しています。詳しくは同センターへ。

杉並区次世代育成基金の活用による 小学生名寄自然体験交流

昨年の12月26日から28日までの間、小学生名寄自然体験交流を実施しました。公募で選ばれた区内の5、6年生25名が、杉並区の交流自治体である北海道名寄市を訪れ、さまざまな自然体験や地元児童との交流を行いました。3回の事前学習会で名寄について予習をした子どもたちは、北国独特の寒さや雪に触れ、名寄市立北国博物館の見学、なよろ市立天文台「きたすばる」での天体観測、スノーモービルやカーリングなど、杉並では味わえない名寄ならではの体験をしてきました。

2月3日には、「学習成果発表会」を開催し、一人ひとりが自分の言葉で、名寄での体験や学んだことを発表しました。会場の様子はインターネットで名寄市にも配信され、名寄市長からメッセージもいただきました。

なお、教育委員会ホームページ「教育のひろば」にも写真などを掲載していますので、ぜひご覧ください。



問合せ：生涯学習推進課

「3・11を忘れない」～防災教育への取組～

教育委員会では、平成23年3月11日の経験を踏まえ、「杉並区立学校（園）における震災時対応及び防災対策の指針」を策定しました。震度5弱以上の地震が発生した場合、授業等を打ち切り、幼児・児童・生徒を保護者に引き渡すまで学校（園）で待機させること、地域や関係機関と連携した防災訓練の実施、防災教育の充実を図ることなどを定めました。各学校（園）では、この指針に基づき、様々な取組を行っており、本年3月11日には、一斉防災訓練（シェイクアウト訓練※）等を実施します。 ※シェイクアウト訓練とは、同一時刻に一斉に地震を想定した避難行動をとる訓練です。

防災教育の実施



杉並第七小学校では、9月に保護者や地域住民、関係機関等と大規模な防災訓練を実施しました。児童は、防災に関する講話を聞き、消防士との消火訓練やAED等を使った救命救急入門セミナーなどを体験しました。

「防災マニュアルミニブック」の配布



区では、区立小中学校の全児童・生徒及び保護者向けに、「防災マニュアルミニブック」を配布しました。ミニブックには、震災時の対応の仕方や家族が集まる避難場所等を掲載しており、普段から携帯しやすいように、A6版で作成しています。

問合せ：済美教育センター

第4回 中学生東京駅伝

平成25年 3月20日（水・祝）

東京駅伝は、区・市・町内の中学校から、それぞれ選抜された中学2年生チームによる区市町対抗駅伝です。

杉並区は、中学校対抗駅伝大会2012及び代表選手選考会等の走行タイムを基に、男子21名、女子21名の精鋭42名による杉並区選手団を編成しました。

選手団は、みんなで力を合わせて、男子42.195km、女子30kmを走り抜きます。

スタート 女子：午前10時 男子：午後1時
会場 味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コース

※走行コース等、詳細については、東京都教育委員会のホームページ「イベントカレンダー」等をご覧ください。

問合せ：スポーツ振興課

「文部科学大臣表彰」を受賞しました！

杉並第一小学校の学校支援本部、放課後子ども教室および学校運営協議会が、24年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞しました。

東京都教育委員会から「校庭芝生の親方・匠」に認証されました！

『親方』地域と連携した維持管理体制の構築などで中心的な役割を担っている方

- ①東田小学校（前八成小学校） 校長 鈴木 友美
- ②和泉小学校 副校長 佐野 篤

『匠』技術的な指導者として継続して活躍している方

- ①桃井第五小学校「桃五小芝生を守る会」
管理運営部長 奈良 一樹
- ②和泉小学校（前任）
教員 畠山 保彦

教育委員会の動き（24年12月～25年2月）

教育委員会は、毎月第2・4水曜日に開催され、必要に応じて臨時会を開催しています。

【教育委員会開催状況】 ・定例会 5回 ・臨時会 5回 ・議案 17件 ・報告事項 25件 ・協議事項 2件

【主な案件】 ◎は審議、○は報告事項、●は協議事項

- ◎ 杉並区子ども読書活動推進計画の改定について
- ◎（仮称）杉並区スポーツ推進計画の策定方針の変更について
- 小学生名寄自然体験交流の学習成果発表会開催について
- 杉並区立永福南小学校・永福小学校統合協議会報告書について
- 杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会における学園名及び学校名候補の検討結果について
- オリンピックアスリート種目別教室等の実施結果について（2020年オリンピック・パラリンピック東京招致気運醸成事業）
- （仮称）杉並区スポーツ推進計画策定にあたっての検討状況
- ◎ 平成24年度杉並区指定登録文化財の指定について
- 杉並区特別支援教育推進計画の策定について
- 学校給食における食物アレルギー対応の状況について

●再生紙を使用しています